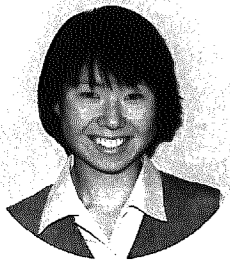




“最高” としか言えない毎日

— 新潟県高等学校生徒海外派遣事業に参加して —

和納10区 齋藤裕子さん(高1)



齋藤裕子さん(和10)

今年の夏はいつもの夏休みと違い、憧れのアメリカで25日間ホームステイを体験しました。アメリカの私の家族は、お父さんのマイク、お母さんのキャシー、妹のアスリーとキャリー、そして弟のコーナーの5人です。

ホームステイ中、イメージしていた英語とは違い、話をする時、発音・イントネーションがアメリカ人のそれとは違い、あまり長い会話ができませんでした。しかし、本当の家族のようにかわいがってもらい、すぐになじめることができるとも嬉しかったです。

アメリカ人は、人間としてもスケールが大きく、小さな事は気にせず、いつも笑わせてくれる、心の暖かい人達ばかりでした。そんな人達と、もっとコミュニケーションがとれたらよかったのですが、自分の英語力がたりないため、しばしば残念な思いをしました。

それでも、ホームステイ中は、3人の妹弟と日本のことを勉強したり、毎日さわがしく楽しく過ごすことができました。

あっという間の25日間、お別れの時、お母さんが「あなたは日本にいる私の娘だから、忘れないでね」と言ってくれた時、この地球の反対側に、私を知り、そして私にかかわってくれた、もうひとつの家族、友達がいることを忘れたくないと思いました。

私は、帰りの飛行機の中で16歳をむかえましたが、アメリカへ行く前に比べ、ひとつ大人になると同時に、気持ち、考え方が大きく成長できたと思っています。また、私にとって宝物となったこの体験は、新しい発見や感動、愛がたくさんつまっていた、とても充実した25日間でした。この最高の体験を、今後に生かしていきたいと思っています。



語学研修をする齋藤さん(右側)

県内高校1年生を対象に、新鮮な国際感覚と国際協調の精神を養うことを目的に行われている派遣事業。その選考試験に合格した33名の中の1人齋藤さんは、イリノイ州スプリングフィールド市にホームステイし、語学研修や表敬訪問、そして教育文化施設見学など、多忙な毎日を送りました。



村長に報告

Welcome to Iwamuro

ようこそ 岩室へ

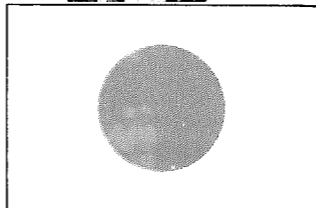
今年も、「語学指導等を行う外国青年招致事業」により、エイミー・メルニコフさんがアメリカから赴任しました。

平成10年の7月まで、月曜日から木曜日までは岩中、金曜日は和小・岩小で、それぞれ授業を行います。

1年間よろしくお願いします。

エイミーさん直筆です
Amy Melnikoff さん
はじめまして
こんにちは

— エイミーさん直筆です —



新成人八十三名参加

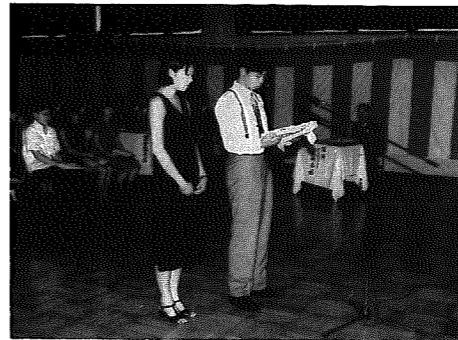
成人式

決意も新たに

新成人

立秋も過ぎ、通り抜ける風が少しづつ涼しさを増した先月十五日、公民館講堂で「成人式」が行われ、新成人八十三名の門出を祝いました。

式典では、鷲沢村長の式辞、村民憲章朗読、記念品の授与に続き、早川村議会議長と高島教育委員による祝辞が送られた後、新成人を代表して、土橋明博さん(和納十二区)と鈴木由香さん(久保田)が、「社会人として、自分の行動には責任を持ち、思いやりの心を大切に歩んでいきたい」と、二十歳の決意を述べました。



土橋明博さんと鈴木由香さん

式典終了後、岩室村教育委員長の本間泰さんにより、「人人に教



わったこと」と題した記念講演が行われました。講演の中で本間さんは、先日行われた「少年の主張発表会」で、広田友香さん(和納六年)の村民憲章を題材にした発表を紹介したり、自らの渡米体験やことばの使い方などを述べられ、新成人も神秘的な面持ちで聞き入っていました。

